

思いやりのある生徒
確かな学力をもつ生徒
心身ともにたくましい生徒



とうだい

平戸市立



生月中学校

自信と誇りもて歩め

心を見つめる

教育週間

先週の1週間は、生月中学校心を見つめる教育週間でした。

月曜日には、絵本『ぼく』を題材に講話を行い、生きることにについて考える時間をつくりました。

続いて、全校で、SNSの扱いについて学びました。具体的なケースについて考えることで、



コミュニケーションの難しさに気づくことができました。

午後からは、1・2年生を対象に、平戸市消防署生月出張所から所員の方を講師に迎え、救命救急法の講習を受けました。救急車が現場に届くまで、平均10分かかることから、到



着までの心臓マッサージやAEDの使用が生死を分ける

ということを知り、実際に全員が心臓マッサージを体験しました。姿勢やリズムについて細かく指導を受けながら、真剣に取り組んでいま

火曜日には、3年生を対象で水難事故防止講習がありました。今年度は、平戸海上保安署の署員の方から、離岸流



午後からは、学校支援会議が開かれ、委員の皆様に学校経営について説明し、授業参観や中総体の結果報告、アンケート結果の考察を通して、学校生活の様子を知っていただきました。意見交換では、SNSなどについて心配する声が上ががり、メディアコントロールについても様々な意見が出されました。

木曜日には、授業参観と学年懇談会を行いました。1・2年生は命について考える道徳の授業、3年生は親子進路学習会という内容でした。話し合う姿勢も真剣でした。ご参観ありがとうございました。



さて、SNSについて全校学習で、「マルハラ」が話題に上がりまして。SNSのやりとりで文末に「。」を付けると強めて冷たい印象になり、ハラスメントの案件になるというものです。強く同意している生徒もいました。しかし、句読点自体は、漢文を読んでいた時代に生まれたものなので、ごく最近になって、一部の意見が面白く採り上げられ、あたかも一般的な傾向であるかのように仕立て上げられたものだと思います。この話題に歌人の俵万智さんは、「優しさにひとつ気がつくXでなくOで必ず終わる日本語」と応えています。心を見つめる教育週間は終わりましたが、情報に流されず、自身のもので見方や考え方を大切にするのも「心を見つめる」ことにはなるはずです。

校外学習に行つてきます！

3年生は明日から、中九州方面に修学旅行に出かけます。九州の雄大な自然や文化、歴史に触れる3日間です。2年生は、職場体験学習を行います。地元生月の11の事業所にお世話になります。1年生は、歴史探訪とシーカヤック体験に出かけます。中江ノ島クルーズも予定されています。

